

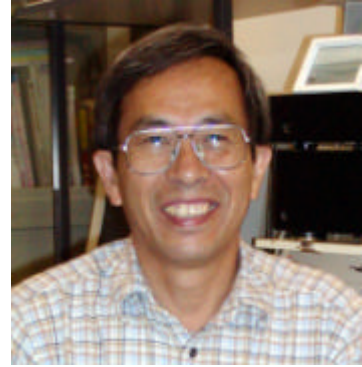
里山と医療・福祉 分科会

テーマ : 房総里山・里海の可能性 ~ 森林療法・磯浜療法 ~

趣 旨

千葉県 대표적인自然環境である里山・里海を医療、福祉の実践の場として位置付け活性化することを目的とします。そのために今回、千葉県の里山・里海を多面的に(地理、生物、文化、歴史等)に再確認して頂き、森林療法研修につながります。

行政をはじめ医療、福祉、教育、農林漁業、商工業、NPO等様々な立場の方にご参加願ひ、皆様と共に療育 健康増進活動における里山・里海の有効性 可能性を検討していきたくと考えております。



赤城建夫氏

分科会スケジュール

10:50 ~ 12:00 分科会 第一部

講師：静野聡子氏 東京大学大学院 総合文化研究科助手

海洋生物 千葉県三番瀬委員 千葉県の里海に関わるお話をしていただきます

戦後木更津の自然変化：海岸、畑、防風林等の時代変化を画像資料で説明

昭和 30 年代まで鋸南町が行った、海岸を活用した子どもの受け入れ事業、県水産課が当時の写真資料所有

千葉県は首都東京に隣接し保養地として、又結核の転地療養地として既に機能していた。木更津は文人療養者が多くサロン化が見られた。等

12:00 ~ 13:00 昼食、交流

13:00 ~ 14:40 分科会 第二部

講師：赤城建夫 氏 千葉県千葉リハビリテーションセンター心理発達科長

座学

森林療法の概要説明

ドイツのクナイプ療法：基本的アイデアについて

フィトンチッドの話(森のかおりの作用) ~なぜ、森は人を癒す効果をもつか~

現在千葉県での森林療法の事業紹介

野外実習(雨天の場合は室内で工夫する) ~感覚を高める~

気づきを高めて様々な自然の息吹(風、光、香りなど)を感じ取ってみよう

感じ取れる自分の体のなかを知ろう

爽やかな自己の中で人のあたたかさ、手に触れてみよう

意見交換